

富士通フロンティアーズ (アメフト) ・ 自衛隊コラボ



自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城2陸尉）は9月10日（土）富士通スタジアム川崎（神奈川県川崎市）にて、アメリカンフットボール・Xリーグ所属の富士通フロンティアーズとコラボレーションした。富士通フロンティアーズは「スポーツを通じて社会課題の解決を目指し、健康で豊かな未来の実現に向け、SDGs達成への取り組みを積極的に推進いたします」としている。当日は試合開始前に、ラゾーナ川崎プラザから富士通スタジアム川崎までの間を、車椅子体験組・ゴミ拾い組の二組に分かれて移動した。車椅子を使用している方々の目線で物を見ることで、バリアフリー・多機能トイレ・道路整備などの重要性を知ることができ、さらにはゴミを拾うことにより、地域に貢献することができた。



スタジアム近くの自衛隊ブースでは、軽装甲機動車・高機動車・偵察用オートバイの展示・搭乗、制服・迷彩服の試着体験、南極の氷展示で賑わいを見せ、自衛隊を身近に感じてもらうことができた。ハーフタイムでは、富士通チアリーダー部『フロンティアレッツ』、富士通フロンティアーズ公式マスコット『フロンティアー』、神奈川地方協力本部マスコットキャラクタークター『はまちゃん』『たま』『トップニヤン』が協力して会場を盛り上げ、観客との一体感を味わい、地域の住民等に今まで以上に自衛隊をPRすることができた。川崎出張所では「今後も、地域に密着した様々なイベントに参加し、自衛隊をより知ってもらい、自衛隊の理解促進につながる広報活動を継続していく」としている。

